

第2回 あまくさ創生実践会議 会議録（概略版）

日 時	平成27年6月19日（金） 13：30～17：00
場 所	天草国際交流会館ポルト 多目的ホール
出席者	別添名簿のとおり
議 題	（1）人口ビジョン（素案）について （2）高校生の意見聴取等について （3）意見交換～次回テーマ「しごと」について （4）その他
資 料	資料1：天草市人口ビジョン（素案） 資料2：天草市まち・ひと・しごと「人口ビジョン」と「総合戦略」の全体像（案） 資料3：＜基本目標2＞新しいひとの流れをつくる 資料4：あまくさ創生実践会議 女性委員推薦名簿（案）

議題（1）人口ビジョン（素案）について【資料1、2】

事務局： 資料1に基づき「人口ビジョン（素案）」について説明。

委 員： 14頁の合計特殊出生率だが、2008年から上昇した要因は何か。

委 員： 第2次ベビーブーマー世代が40歳に差し掛かるといふことで、駆け込み需要があったと言われている。

会 長： 人口についてみなさんで認識共有を図りたいので、ほかにもお気づきの点があればご発言いただきたい。

委 員： 出生率1.85という現状の中で、2.1を想定し、44,000人を目標数に掲げるのは、スタートの時点から現実と目標が乖離するのではないかと。日本一である沖縄県の1.94より高い。ハードルが高いのではないかと。思う。

委 員： そもそも論だが、総合戦略でKPIを設定することになっているが、44,000人という人口数がKPI※になるのか。

事務局： 44,000人はあくまでも2060年の天草市の人口目標であって、それを達成するための各施策のKPIを設定する。それが達成できたら2060年の人口目標44,000人が達成できるという考え方である。

会 長： ほか、ご意見ないか。

委 員： そのような数字ということであれば、ある程度決め打ちしないと、この場で議論してどうこうというわけでないと思う。また、せっかく各業界から集まっているので、これらの資料をひもとき、例えば、医療・福祉分野では女性の就労人口が多いとか、漁業であれば男性が多いとか、そういう中において、意見の交換することが貴重なのかと思う。

会 長： 今後の議論の中ではそういった観点も必要になってくる。そのような議論からKPIをどうするという展開になっていくと思うのだが、その考え方の流れを示すのが資料2になると思う。事務局から資料2の説明を。

事務局： 資料2に基づき説明。

会 長： 説明のとおり、今日は、まずは人口ビジョンで方向性を見ようということで議論しており、そしてそれを踏まえてKPIを考えていくという流れになる。

委 員： 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という目標のKPIに「農業後継者の結婚支援」がある。相談員に丸投げではなく具体策が必要。お互いができることをお互いでやった方が早いのではないかと思う。「具体的施策をどうしましょう」ではなく、「具体的に自分が何をするか」を考えた方がいいと思う。

会 長： ご指摘にあったように、今回は具体的な取組みを考えましょう。今回は、人口について情報を共有することが目的だが、次回以降でもう少し具体的な議論になっていくのだと思う。ほか、気付かれたことなどないか。

委 員： 想像の範囲内の手を打っていても、人口は増えないという前提のもと議論しなくてはならないと思う。例えば天草に大学を造るとか、「そんな施策がでたか」と驚かれるような前向きな会議になるといいなと思う。

※ Key Performance Indicatorの略称。「重要業績評価指標」と訳されるもので、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

以上の意見やりとり後、議題1は終了。

議題（2）高校生の意見聴取等について

会 長： 前回、高校生を入れることを検討するように意見が出ていたと思うが、それについてどうなったか事務局から報告をお願いしたい。

事務局： 市内の高校に意見を伺ってきたのでご報告する。校長や教頭にお会いしたのだが、委員として参加することは難しいとのことであった。そこで学校から提案があった策としては、アンケートへの協力や、ホームルームや総合的学習の時間で生徒が意見を交わし、その意見を各校が持ち寄って発表しあう場を休日に設けるということであれば可能とのことであった。

委 員： 高校生だけで会議をするのではなく、我々も参加し、質問したり意見を直接聞いてみたいという思いはある。休日に場を設けることが可能とのことであれば、単に結果を紙に書いてだしてもらいより、直接話す場を設けていただければと思う。以前、まちづくり協議会の会議への参加もお願いしたところ叶わなかった。これからのことを考える若者には是非参加してほしいと願っている。

会 長： ではそういったご意見があることを踏まえ、改めて高校と協議し、たとえばまちづくり協議会の会議の場には参加可能との意見ができれば、まちづくり協議会にも協力を願いたい。ほか、ご意見ないか。

委 員： 事務局に確認だが、本心配られた資料は他の人に開示しても問題ないか。

事務局： 取扱注意との記載がある分については、開示は控えていただきたいが、それ以外は開示していただいて問題ない。

以上の意見やりとり後、議題2は終了。

議題（3）意見交換～次回テーマ「しごと」について

- 会 長： 次回テーマ「しごと」についての議論に移る前に、今後の会議の進め方で皆さんからご意見はないか。
- 委 員： 専門部会なんかを構成するのはどうか。
- 委 員： 私はできれば、このままのスタイルでしっかり議論ができるならばこのままでもいいのではないかと思う。この場で何を議論するのが明確になるのであれば、このままの形態で議論を深めさせていただきたいと思う。
- 会 長： 次回、何を議論するかを明確にさせておくという点は、たしかにご指摘のとおり。このあと協議し、次回の論点を決めておくようにしましょう。
- 委 員： 私も、次回の論点が明確にしてもらえるのであれば、現在のスタイルでの議論で問題ないかと思う。
- 会 長： では基本的には、現在のスタイルでやるとし、必要に応じて部会を設けるという風にしたいと思う。では、これから次回の「しごと」の議論に向け、論点を明確にするために少人数に別れて意見交換をしていただきたい。

～4グループに分かれて議論～

- 会 長： 各グループで出たご意見について、発表いただきたい。
- グループ①： 求人が多い職種は福祉・医療。問題は、離職率が高いことである。
また、大学や高等教育を天草で提供できるようにならないと、子どもが地元を離れることの解決は難しいのかなとの意見もあった。看護学校もあるが、地元入学も少ないし、卒業後に天草に就職する人も少ない現状ではないか。保育関係の学科があれば現状は変わるのではないか。
ほかにも、看護師等については、仕事のわりに給料が安いことも離職率が高い原因ではないかという意見もあった。
- グループ②： 女性の仕事の位置づけ、「女性が働きやすい天草」をつくるべきではないかという意見がでた。ほかにも、1次～3次産業、みんなで一括して取組んでいかねばならないという話もした。
- グループ③： 仕事がないから若者が帰ってこないという話もあるが、実際には求人はちゃんとあっている。ただ、内容が体力仕事、汚れ仕事であったりするので就職に結びついてない現状があると思う。なので、高校にお願いしたいのだが、高校生もアルバイトができるようにしてほしい。お金を稼ぐことの大変さを学ぶ機会を作るべきでないかという話になった。こういった観点を政策に盛り込んだらどうかという話が出た。
- グループ④： 天草市においては、各地域によって人口の増減に違いがあるので、各地域に合った策、例えばこの地域であれば女性の就業対策等に力を入れた策をとるなど、各地域の特性に立ち返って考えることが大事ではないかという話が出た。
また、1次～3次産業があるが、就業人口構造を明らかにしたうえで、例えば、漁業、特に養殖業に特化した策を講じることで、女性の就業が生

まれるということが説明できるのであれば、そういった策をとることがきるのではないか、という話が出た。

また、天草は観光地といえども、グリーンツーリズムが現状にはない状況である。例えば、新和町では晩柑農家の高齢化が進み、収穫等の作業が困難な状況がある。そういったところに体験型の農業を作ったり、加工品を作ったり、天草版のグリーンツーリズムに特化して農業に付加価値をつけるような取組みをするという話ではないかという話をした。

会 長： ありがとうございます。

では、次回「しごと」の議論に向けてどんな観点から話をするかの話に入りたいと思う。今までの意見交換を聞いて、私なりにどんな論点があるのかをまとめると、1点目は、「しごと」をそもそもをどうするか。論点は、波及効果のある仕事を創るという点、ミスマッチを減らそうという点がある。

2点目は、「はたらき方」をどうするか。働き続けられるようにするにはどうするか。

3点目は、戦略をどうするか。今すでにやっていることがありつつも、現状ではこういうことが悩ましいのかを持ってきていただく。（いまこんなことになっている、この点が悩ましい、など）

以上の3点をそれぞれで考えてきていただいて、資料等を持ち寄っていただくことが次回の会議となる。事務局として、それを考えるのに提供できるデータを探しておくことをお願いしたい。

また、今後を見据え、今日色々な資料を配っていただいていると思うのももちろん我々も見るが、事務局には、これらの中から今のように関連しそうなものを抽出して次回資料として提示していただきたい。国勢調査についても、色々なデータ集めていると思うので、それを加工すればいろんなことが見えてくると思うのでよろしくお願いしたい。

では、今日の配布資料、その他の観点などを各自ご確認いただき、事務局で締切を設定して、必要な書類の提出などのご協力をお願いすると思うので、各委員ご協力をお願いしたい。

以上の意見やりとり後、議題3は終了。

議題（4）その他【資料4】

会 長： 残った論点に移る。「その他」ということで、女性委員について事務局から説明をお願いします。

事務局： 資料4をご覧ください。第1回会議の際に、女性委員不在についてご意見いただいたところである。女性委員の推薦方法について、どういった推薦方法がいいかご意見いただきたい。

ご提示しているパターン1では、各団体それぞれから選出いただくもの。パターン2では、同じような職種から1名をご推薦いただくものを示している。

会 長： みなさん、どうお考えか。ご発言をお願いしたい。

委 員： 女性・子育てにフォーカスした意見を求めるのであれば、今集められている

各種団体からというより、そのほかの子育て関係の取組みであったり、活動をしているNPO団体等から出てもらうのはどうか。

会 長： ほか、ご意見ないか。

委 員： （意見なし）

会 長： では、事務局には戦略的な観点から女性委員を推薦いただけるよう動いてもらうことをお願いしたい。そして、次回以降ご出席いただけるようお願いしたい。

委 員： 何人くらい加えるのが妥当なのか、設定しておいた方が選びやすいのでは。

会 長： たしかに。具体数があった方がいい。すでに26名の委員がいるので、数名では少ない気もするが、かといって10名ほどいきなり加えるのも難しい気もする。

委 員： 推薦パターン2を参考に、上限8名ほどでどうだろうか。30名を大きく超えてしまうと、議論がしにくくなるのではないか。

会 長： では、委員として総数30名ほどを目指すということではよろしいか。それに向けて推薦をお願いしたい。ほか、事務局からないか。

事務局： 前回会議録について、発言の内容等で修正があれば、のちほど事務局にご連絡をお願いしたい。

また、第1回の中で各種資料の提供の依頼があっていたが、事務局から委員のみなさんにもご協力を仰ぐことになるかと思う。

最後に、第3回の開催日だが、7月22日（水）の午後からとなる。会場についてはまた改めて通知させていただく。以上。

会 長： では、本日の会議はこれで終了とする。

（以上）

あまくさ創生実践会議 委員名簿

H27.5.21 現在(順不同)

		所属	役職	氏名	備考
1	会長	慶應義塾大学	教授	タムムラ マサシ 玉村 雅敏	
2	副会長	天草市まちづくり協議会連絡会	会長	ナカガワ タケハル 中川 竹治	
3	委員	本渡五和農業協同組合	代表理事常務	ユ スキ アキオ 湯貫 秋男	
4	委員	あまくさ農業協同組合 指導販売部	果樹園芸課長	ゴトウ ノブユキ 五嶋 伸幸	欠席
5	委員	天草地域森林組合	代表理事専務	カワチ コウイチ 河内 公一	
6	委員	天草漁業協同組合	総務課長	ウエダ コウイチロウ 植田 弘一郎	
7	委員	(一社)天草宝島観光協会	事務局長	イワミ リュウジロウ 岩見 龍二郎	
8	委員	天草市起業創業・中小企業支援センター	センター長	ノマ ヒデキ 野間 英樹	
9	委員	天草経済開発同友会	委員長	ヤマモト ヒロシ 山本 博	
10	委員	(一社)天草本渡青年会議所	副理事長	カミ タケシ 上 剛司	
11	委員	牛深青年会議所	理事長	オカベ ノブヒロ 岡部 伸大	
12	委員	本渡商工会議所	事務局長	ホリタ ショウジ 堀田 照二	欠席
13	委員	牛深商工会議所	常議員	エザキ タカシ 江崎 孝	
14	委員	天草市商工会	経営指導員	マツモト トシユキ 松本 利幸	欠席
15	委員	天草市保育所連盟	会長	スサキ トヨヒロ 洲崎 豊裕	
16	委員	天草市県立学校長会	代表	マエダ ミチハル 前田 三千治	
17	委員	連合熊本天草宇城上益城 地域協議会天草地区連絡会	幹事	ミヤザキ エイジ 宮崎 英治	
18	委員	肥後銀行 天草支店	支店長	ヨコセ ヒデオ 横瀬 英夫	
19	委員	熊本銀行 天草支店	支店長	イチグチ カツヤ 一口 勝也	
20	委員	天草信用金庫 融資部	審査上席専任役	ワタナベ カズナリ 渡邊 一成	
21	委員	天草広域本部	総務部長	ハジメ キミオ 一 喜美男	欠席 (代理出席あり)
22	委員	天草市地域振興部地域政策課	課長	スガワラ ヒロアキ 菅原 弘晃	
23	委員	天草市健康福祉部健康福祉政策課	課長	イセザキ ユウキ 伊勢崎 裕樹	欠席
24	委員	天草市経済部産業政策課	課長	オオタ ヤスト 大田 安人	
25	委員	天草市観光文化部観光振興課	課長	ワタナベ ヒデト 渡邊 英人	
26	委員	天草市教育部教育総務課	課長	ヤマナ スナオ 山名 直	欠席
		天草市総合政策部	部長	カネコ マサヒデ 金子 正秀	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	課長	シオサキ トシヒコ 塩先 敏彦	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	係長	ヒラヤマ タカヒロ 平山 高広	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	参事	カドグチ トオル 門口 徹	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ムカエダ マサタカ 向田 正隆	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ナカガワ ジュンコ 中川 淳子	